
耳朶

かみなせ しゅら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

耳朵

【ZPDF】

N1601Z

【作者名】

かみなせ しゅら

【あらすじ】

耳たぶのあたたかいの冷たいの

薬を買つたら女のは笑つたな、ありがとうございましたと言つて、袋を渡さずに。自動ドアの手前、目の隅では笑いかけて、恐怖、飲み込んで、必然的な作用に従つてフラフラしたら、小学生は影に隠れて様子を伺つた。

弟がいます、習字をしています。僕もやつてました。一緒にバッティングセンターに行つて自転車で一緒に行つて、弟が二回打つて、僕は一回打つて、コーンスープ買つてくれて。

それで習字があつて、

「外まで見送つてくれたり？」

「いえ寒いからね」

ドアを開ける。

「暖かいね」

「そつちは着込んでるからね」自転車をだして

「白線の向こうまで見送つてくれたり？」

「しない」

背を向ける

「良いお年を」

「良いお年を。」

HAPPY new yearの話を帰りに話してね、「ウイーウ
イッシュユースメリークリスマス……」つて歌い出すから、end
HAPPY new yearつて ジョンレノンの歌でもそそうだ
けど、なんて素晴らしいのだろうって、。

お正月、莊厳にパンパンと両手で叩くのとは違った、前向きで来年
もHAPPYに違いない。来年もHAPPY!つて言つよつな、嬉
しさがいい。

僕はバツティングセンターで空振りをするような気持ちの良さがあ
つて、バントをすれば良いのだけど、コーンスープを飲むと、優し
い人からメールがちょうど届いた頃くらい、コーンスープの底に果
実がたまつて、コツコツと落としてあげて、弟は咽せてたら、人間
てなんて暖かいのだろうって。

人類一般なんてどうでもいいのですよ、そういう人ばかりになつて、
僕みたいな、人はみんな薬を飲めば、いえ、お酒でもいいのかもし
れないけれど、そうしたら、もつと耳朶はもつと熱くなつて、幸せ
で、なんて幸せでいられるのでしょうか。

暴かれるのが嫌で、逃げてきたけど、魂の内ではまだ耳は暖かいの
に、どうして触れば冷たいのでしょうか、わかっています。それは、
見送るとは英語ではなんと言うでしょう、という軽快な問いを鈍痛
によつて無視した彼、そこから逃げ出した僕の宿命なのです、触れ
れば冬の耳朶はいつも冷たいのです、いくら人に暖められても、触
れれば、、、。

見送るは、see off です

city hall は多分、市役所です。

は
い、
。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1601z/>

耳朵

2011年12月5日20時09分発行